学校番号	T1202

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	消費生活	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	消費生活（文部科学省）						
副教材等	実習教材、プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
経済社会の動向、消費者の権利と責任、消費者と行政や企業との関わり及び連携の在り方について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
消費生活に関する課題を発見し、消費者の視点を持った職業人として合理的かつ創造的に解決することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい消費生活の実現をめざして自ら学び、消費者の支援や持続可能な社会の形成に主体的かつ協働的に取り組む組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	経済社会の動向、消費者の権利と責任、消費者と行政や企業との関わり及び連携の在り方について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。	消費生活に関する課題を発見し、消費者の視点を持った職業人として合理的かつ創造的に解決することができる。	よりよい消費生活の実現をめざして自ら学び、消費者の支援や持続可能な社会の形成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	経済の動向と消費生活	○国民経済と消費者 ○社会の変化と消費生活	a:経済の動向と消費生活について、必要な知識を身に付けている。 b:経済の動向と消費生活について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c:経済の動向と消費生活について、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価
	消費者の権利と責任	○消費者問題 ○消費生活と契約	a:消費者の権利と責任について、必要な知識・技術を身に付けている。 b:消費者の権利と責任について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c:消費者の権利と責任について、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価
後期	消費者と行政・企業	○消費者の自立支援と行政 ○消費者と企業	a:消費者と行政･企業について、必要な知識・技術を身に付けている。 b:消費者と行政･企業について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c:消費者と行政･企業について、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート記述 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価

	持続可能な社会をめざしたライフスタイル	○消費生活と環境 ○持続可能な社会の形成と消費行動	a:持続可能な社会をめざしたライフスタイルについて、必要な知識・技術を身に付けている。 b:持続可能な社会をめざしたライフスタイルについて、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 C:持続可能な社会をめざしたライフスタイルについて、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度